

第144回企画展

新しく やってきた**標本**たち ～集めて、守って、活かす～

ムシャ
リンドウ

デンジソウ

アサザ

滋賀の理研館の「地大採」採集本



ゴアカザトウムシ
県内初！
2025年に真岡市で発見



バカマツタケ
23年ぶりの標本



ホッキョクグマ
全長約3m!

シモツケヒラアシキバチ
2023年に新種になった



北海道石
2023年に承認された新鉱物



セイウチ類の犬歯の化石
栃木県にも海があった



ナウマンゾウ
展示で大活躍

2026. **4.25** (土)
～ **6.15** (月)
(県民の日)



Tochigi Prefectural Museum
栃木県立博物館

〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町2-2
TEL:028-634-1311(代) FAX:028-634-1310

- 開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日、6/15を除く)、4/30(木)、5/7(木)
- 観覧料 一般260(200)円 / 高・大生120(100)円 / 中学生以下は無料
県民の日関連(6/13、6/14、6/15)無料

* ()内は20名以上の団体料金、またはM割料金
* M割(ミュージアム割引)について
栃木県博物館協会のM割参加施設の入館券を持って、入館日から6ヶ月以内にM割参加施設に入館すると、料金割引を受けられます。

新しく やってきた**標本たち** ～集めて、守って、活かす～

栃木県立博物館では昭和57(1982)年の開館以来、さまざまな標本を集めてきました。
令和8(2026)年3月末時点で、約75万点の自然系資料が保管され、一部が展示されています。

第1章

標本を集めて

博物館は、展示するためのだけの施設ではありません。標本を収集・保管するという重要な役割を持っています。この章では、ここ5年間で加わった標本を例に、標本の集め方を紹介します。



購入
(パラオオウムガイの貝殻)



採集 (カミツキガメの剥製)



寄贈 (大量の押し葉標本)

第2章

標本を守って

標本はどのように守られているのか?集めた標本の保存と管理について紹介します。



押し葉標本作製のようす



仮剥製の収蔵のようす



標本を守る場所!収蔵庫棟

第3章

標本を活かす

展示、講座、調査・研究、環境施策への情報提供など、さまざまな場面の標本の活用例を紹介します。



展示での活用



蓄積した標本をもとに情報提供



研究に活用
(ムカシフジツボの化石)

関連行事

○記念講演会 要観覧料 要予約
予約開始:2026年3月3日

「栃木県博の自然史資料収集44年:描いた夢、格闘の日々、そして未来へ」
講師:林光武氏(元当館脊椎動物担当)、自然課職員
5月2日(土)13:30~15:30
定員:150名(要予約) 会場:講堂

○博物館の資料を集めよう!
~昆虫の写真を撮ろう~ 要予約・抽選
6月6日(土)10:00~11:30
定員:15名 会場:おもかげテラス

○生物・地学収蔵庫ガイド 要予約・抽選
6月14日(日)13:30~15:00
定員:20名 会場:研修室、収蔵庫

○学芸員による展示解説 要観覧料
4月29日(水)、5月30日(土)
14:00~15:00
会場:企画展示室

○学芸員とっておき講座 予約不要
『『新しくやってきた標本たち』の裏話』
5月17日(日)13:30~14:30
会場:講堂

お申込み



予約の必要なものは、左のQRコードか、下記電話番号、もしくは当館受付でお申込みください。
栃木県立博物館 教育広報課 TEL028-634-1312

アクセス

- ◎JR宇都宮駅(西口)から(関東バス)
 - ・13番のりば 37「桜通り経由鶴田駅行」または37「桜通り経由西川田駅行」で「中央公園博物館前」下車(徒歩8分)
 - ・10番のりば 43「長坂経由鹿沼営業所行」または40「西の宮団地行」で「文星芸術大学附属中高」下車(徒歩8分)
- ◎東武宇都宮駅から
関東バス「東武駅前」バス停で上記バスに乗車

